



新年度の挨拶

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長 赤池 洋

令和7年5月16日(金)に甲州コミュニティホールで定時社員総会が開催されました。理事会より提案をさせていただきました全ての議案に対して承認をいただき感謝申し上げます。

当士会は昨年度より新体制で活動を開始し、多くの事業が展開されました。特に学術局ではコロナ前と同様に対面形式で研修会を開催するなど、当士会の強みである“顔の見える関係”に向けて取り組まれてきたことを大変嬉しく思います。また、日本言語聴覚士協会や山梨県リハビリテーション専門職団体協議会、行政関連などの事業にも参加し、STが社会に求められる機会が増えていることを改めて実感致しました。1年間滞りなく事業が進められたのも会員の皆様のご理解とご協力のおかげだと思います。ありがとうございました。



さて、今年度の事業では新しい取り組みがあります。1つ目は「認知機能低下予防補聴器装用推進事業」です。近年、難聴は認知症の危険因子として注目されており、補聴器の使用割合も少ないことが知られています。今回、山梨県の事業として当士会も協力し、難聴や補聴器に関する正しい知識の普及や難聴の早期発見、早期介入を行い、高齢者の補聴器装用を推進するために準備していききたいと思います。2つ目は臨床実習指導者講習会です。当士会では講習会を開催するのが難しいため、会員の皆様が円滑に講習会を受講できるように関東圏都県士会や養成校からの情報を共有出来るように努めていききたいと思います。3つ目は山梨県リハビリテーション専門職団体協議会ですが、今年度より当士会が事務局となり、運営していきます。今年度は協議会が設立されて10年が経つため、10周年記念式典を開催する運びとなりました。PT、OT士会とでワーキンググループを立ち上げ準備していきます。

今年度も多岐にわたり事業が展開されていきますが、会員の皆様と協力して取り組んでいきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

最後になりますが、私は今年度に入り、勤務先から依頼を受けて広報誌の執筆や高校生の出前講座を行うなど、STの広報活動に努めています。対象者のニーズは幅広くなっている昨今、対象者に寄り添える多くのSTが必要だと思います。今後とも県士会活動にご理解をいただき、広報活動も含め積極的な参加をお願い申し上げます。

《目次》 P1…新年の挨拶 P2…令和7年度定時社員総会報告 P3…代表者会議
P4～5…第4回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会 P6～7…新入会員紹介
P8…高校生出前講座～上野原高校～/小児勉強会 P9…ふじやま便/失語症者向け意思疎通支援事業
P10…理事会報告 P11…各局・委員会からのお知らせ

令和 7 年度 定時社員総会報告

甲府城南病院 桂川 謙祐

令和7年度社員総会は、5月16日（金）午後7時より甲州コミュニティホールで開催され、今年度より現地対面でのみの開催となりました。会員には昨年同様に事前の議決権行使を含めた総会への参加協力の依頼をした結果、社員数127名に対し、出席者は会場出席38名、委任状提出52名、書面表決書提出24名の計114名でした。出席者が定足数を満たしたため、総会は有効に成立しました。



まず、元木副会長の司会にて総会が始まり、開会の挨拶として赤池会長が令和6年度1年間を振り返られました。赤池会長は「会長に就任して、会員の皆様の協力もあり、一年間を無事に終えることができ感謝申し上げます。この一年を振り返ると学術部の症例検討会がコロナ禍前の様な対面開催で、できるようになったことを本当に嬉しく思います。」と

話され、県士会の一年間の充実ぶりを感じることができました。議長には北杜市立塩川病院の向亜希香氏が選出され、令和6年度の事業報告・収支決算報告、監査報告、令和7年度の事業計画案・学術部研修会に関する件、収支予算案、山梨県リハビリテーション専門職団体協議会に関する件の7議案（7号議案は報告のみ）について審議しました。4号議案の学術部研修会の件は、これまでは当士会の研修会の参加費用については特に規定がありませんでした。今回は、県士会員と非会員の差別化を図るためにも、会員は学術講演会や基礎講座を共に無料で受講できることに對し、非会員は協会員や非協会員で金額差を設けながら参加費を徴収するという内容について審議がされました。これらすべての議案は賛成多数で可決されました。最後に中村副会長から協会員と士会員の一致化を図っていく、連携体制構築事業についての説明がされ、午後7時50分に閉会となりました。



総会終了後には、理事会を開催し、新入会員6名、賛助会員入会希望1社が承認され、新年度の活動がスタートしました。



令和 7 年度 代表者会議

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長 赤池 洋

令和 7 年度代表者会議が令和 7 年 4 月 18 日（金）、甲州コミュニティホールにて開催されました。代表者会議は各病院施設の ST 代表の先生が集まり、当士会の事業内容や各施設の動向などを意見交換する場として以前より開催してきました。今回はコロナ禍を経て 7 年ぶりの開催でしたが対面開催ということもあり、久しぶりにお会いする先生や初めてお会いする先生など 14 病院施設から 18 名の先生方に参加していただきました。

代表者会議では以下の議題を担当者よりご報告させていただき、全てにおいてご理解をいただき感謝申し上げます。

- ① 令和 6 年度活動報告（赤池会長）
- ② 認知機能低下予防補聴器装用推進事業（赤池会長）
- ③ 山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 10 周年記念式典（赤池会長）
- ④ 災害時における LINE オープンチャット使用（中嶋理事）
- ⑤ 令和 6 年度臨床実習指導者講習会調査（桂川事務局長）

当士会の事業は当士会の活動が大半となりますが、それ以外にも日本言語聴覚士協会や山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会、山梨県介護支援専門員協会などの他団体、そして行政などの事業に関連することが多くなっています。また、近年課題となっています超高齢社会の進展に伴う障害の重度化と病態の複雑化への対応、地域包括ケアシステム、放課後等デイサービス、特別支援学校・学級等における専門職としてのニーズの拡大など、ST に求められる役割や知識等は大きく変化してきています。このような情勢の変化と共に今年度も新しい事業を展開していく予定です。事業を滞りなく進めていくためには会員の皆様のご理解とご協力が必要となります。どうぞ宜しくお願い致します。

会議後半では各病院施設の取り組みや動向等について意見交換が行われました。限られた時間ではありましたが、各々の病院の状況を知ることができ、今後の臨床や連携に繋げられる良い機会になったと思います。

今後は代表者だけではなく、会員同士とも自由にお話が出来る場を設け、当士会の強みである「顔の見える関係」を築いていきたいと考えています。

参加していただきました先生方、ありがとうございました。



第4回山梨県リハビリテーション専門職 合同学術大会

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 副会長 中村 晴江

令和7年2月1日(土)・2日(日)、「SHINKA 深化・新化・進化」～リハビリテーションの本質を探り、新たなビジョンへのシフト～をテーマに第4回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会が、290名(PT144名、OT87名、ST59名)の参加を得て盛会のうちに無事終了することができました。本大会は三瀬和彦大会長(山梨県リハビリテーション専門職団体協議会会長)のもとコロナ禍以降初めての集合開催となりました。ヒトとヒトとが当たり前に対面していた時代からの大きなパラダイムシフトが必要とされる現在、改めて「連携・つながり」の重要性を実感し、どのような環境下においても最大限の努力と歩みを進めてきたヒトの歴史を鑑み、「SHINKA」というキーワードを今大会は大切にしてきました。

三瀬大会長講演をはじめ特別講演の山本伸一先生(日本作業療法士協会会長)、梅田聡先生(慶応義塾大学文学部心理学専攻教授)、教育講演では県内の各領域でご活躍中のPT、OT、STの先生方よりご講演をいただき、一般演題(20演題)では日々の臨床や研究の成果についての発表に対し、活発な質疑応答も行われました。

また、1日目には懇親会も開催され、久しぶりにお会いする会員の皆様や講師の先生方と楽しくも有意義な時間を過ごすことができました。多くの方々と同じ時間・空間を共有できましたこと、とてもありがたく、嬉しく感じております。これも、様々な制約の中、集合開催を実現していただいた実行委員の皆様のご尽力のおかげと感謝いたします。

合同学術大会は、我々リハ専門職の資質の向上とリハを必要としているすべての方々の支援の充実を目標とし、3年に一度開催されます。次回第5回大会(令和9年度開催予定)は赤池洋言語聴覚士会会長が大会長を務められ、当士会が当番幹事となります。会員の皆様のご協力をお願いいたします。



大会実行委員



梅田聡先生と3士会会長たち



教育講演
(赤池三紀子副会長)

運営委員の立場から



甲府城南病院 桂川 謙祐

久々の対面学会再開ということもあり、運営委員会ではST・PT・OT 隔てなく様々な検討がされました。学会テーマの「SHINKA」が問われる大会でしたが、新たな試みとなった SNS での広報やレセプションでのけん玉披露など、今までと少し違った学会を感じていただけましたでしょうか。当士会が当番となる次回に向け、進化を止めず、日々切磋琢磨していきましょう。

発表者の立場から



甲州リハビリテーション病院 海野 友希

今回研究発表は初めてだったため分析等大変なこともありましたが、学ぶことも多くありました。また質疑応答の際には、他職種の方からも質問をいただき、合同学術大会ならではの経験をすることができました。今回経験したことを、今後の臨床にも活かしていきたいと思います。

参加者の立場から



山梨大学医学部附属病院 石田 礼

久しぶりの現地開催でしたので、多くの先生と直接ディスカッションや情報交換をさせて頂きました。今回の参加に際して、子育て中であり、参加を迷いましたが、赤池会長の後押しもあり、託児室を利用して参加させていただきました。託児室を利用したことで、親子共々充実した時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。



恵信甲府病院 濱崎 野如

今回の合同学術大会を沢山の方のご協力により無事に終わることができ良かったです。私自身初めての参加であり、合同学術大会は他県でも中々無い試みでしたので楽しみでした。今回は数年ぶりの対面形式での開催となりましたが、他職種との対面での意見交換などを行うことができ、とても新鮮でした。今回の参加を今後の臨床の場に活かしていきたいと思います。

令和7年度 山梨県言語聴覚士会 新入会員紹介



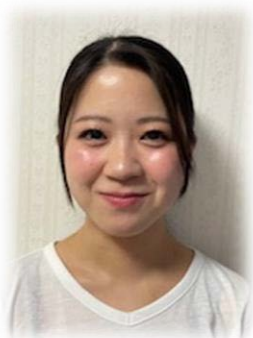
甲州リハビリテーション病院 さの 佐野 かえで 楓

初めまして。この春北里大学を卒業し、臨床実習でお世話になった甲州リハビリテーション病院に入職いたしました。佐野楓と申します。就職してから1ヶ月が経ちますが、勉強することは尽きず、自分に足りないものを考えさせられる毎日です。これからも、患者様に寄り添う、その為に必要な技術と相手を思いやる行動を先輩方から学び成長していきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



甲州リハビリテーション病院 わたなべ 渡部 ゆい 結

出身は山形県酒田市です。新潟医療福祉大学を卒業し、今年度より甲州リハビリテーション病院に入職致しました。今は環境に慣れること、安全にリハビリをすることに精一杯の日々です。緊張や不安を感じることもありますが、その分これからたくさんの学びを深める機会があると思うととても楽しみです。1日でも早く1人前の言語聴覚士を目指して、患者さんのより豊かな暮らしに少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



甲府共立病院 よだ 依田 あおい 蒼生

4月より甲府共立病院に入職いたしました。山梨県出身で、出身校は東京医薬看護専門学校です。社会人としてスタートラインに立ち、学ぶことが多く充実した日々を送っています。まだまだ未熟ではありますが各先輩方にご指導いただき、1日でも早く貢献できるよう努力してまいります。地元山梨でSTとして働けることを嬉しく思います。今後ともよろしくお願い致します。



国立病院甲府病院 しむら 志村 わかな 和奏

私は、地元である山梨の患者さんにリハビリを通して貢献したいと思い、国立甲府病院に入職致しました。国立甲府病院には、重症心身障害児（者）病棟があります。患者さん 1 人 1 人の個性が高く、目に見える変化が現れにくいことも多いですが、その中でもわずかな表情の変化や反応が得られた時には、大きな喜びでありやりがいを感じます。1 日でも早く患者さんの力となれるように努め、より良いリハビリが提供できるように精進していきたいと思います。



山梨リハビリテーション病院 あさかわ 浅川 ゆりあ 裕里亜

昨年 10 月入会

昨年の 10 月から山梨リハビリテーション病院に入職しました。以前は東京都葛飾区で働いており、結婚を機に山梨へ引っ越してきました。山梨は自然が多く、最初は東京とのギャップに驚きました。山梨には知り合いもおらず、不安も多かったですが、スタッフは優しい方が多いので楽しくリハビリができています。日々患者様と向き合いながらより良いリハビリを提供していきたいと思います。宜しくお願いします。



山梨リハビリテーション病院 うらの 浦野 みゆう 美優

今年度より山梨リハビリテーション病院に入職いたしました、浦野美優と申します。出身地の長野より山梨県へと越し、昨年度は白根徳洲会病院にて勤務しておりました。ST としては今年で 2 年目となります。「その方らしさ」を支えるための十分なお手伝いができるセラピストを目指して、寄り添い、学ぶ姿勢で患者さんと向き合い、知識・実践力・想像力の並立した言語聴覚士であるよう精一杯努めます。よろしくお願いいたします。



山梨リハビリテーション病院 わたなべ 渡邊 あき 暁

4 月より山梨リハビリテーション病院に入職いたしました。出身は山梨県です。県外で数年間、他業種で勤務した後に再度学校に入り直して ST の資格を取得しました。生まれ故郷の山梨の地で、気持ちを新たに一から頑張りたいと思います。入職してからの日はまだ浅いですが、臨床の難しさを感じる毎日です。先輩方にご指導をいただきながら、ST として日々成長できるよう精進して参ります。よろしくお願いいたします。

言語聴覚士を目指す学生の増加に向けた取り組み

出前講座 上野原高校

石和温泉病院 高橋 正和



令和6年12月10日、上野原高校にて3年生12名に向けて出前講座を行いました。「福祉」の授業の一環として、医療・介護関連の職種を目指す生徒たちの体験授業として、今回担当させて頂きました。

出前講座では、①コミュニケーションや失語症、構音障害の講義、②失語症や構音障害のある方とのコミュニケーション場面などの疑似体験をする機会を設けました。

疑似体験では、最初は照れた様子の生徒たちでしたが、次第にジェスチャーを交えたり、相手の態度や仕草から推測して、声掛け一つとっても工夫している様子がみられました。発信者として伝えられないもどかしさ、受信者として理解出来ない時の申し訳なさに触れる感想が多く、会話相手への思いやりについて考える機会になったようでした。

今回のコミュニケーション障害への共感的理解という体験から、言語聴覚士という仕事に関心のなかった方々にも興味を持ってもらえるよう、今後も言語聴覚士としてのキャリアの“きっかけ”を創れるような広報活動に取り組んでいきます。



小児勉強会再開しました

石和共立病院 本間 隆之

昨年度から少人数オンライン開催で、症例検討及びQ&A勉強会を行って参りました。ある程度勉強会の形が整ってきた中で、興味のある先生方に参加をして頂き、仲間を増やしていこうと、広報をお願いする事を決めました。現在の小児リハの傾向として、子どもの割合は減少していますが、リハビリに通う子の人数は増え続けており、相談の内容も多様化しています。

言葉の遅れが主訴にありながらも、集団適応の困難さ、社会性の課題、注意や感情のコントロールの苦手さなど多岐に渡ります。STのみでは解決出来ない事も多く、PT・OTとの連携、学校や保育施設との会議など、病院外での業も増えています。現存の小児リハの機関だけでは、初回診察が数ヶ月待ちになっております。子ども達がありのままで過ごしていけるように、気持ちの代弁者としての役割を担っていく仲間作りが出来たら嬉しいので、成人分野のSTの皆様の参加をお待ちしております。



令和 7 年 3 月 2 日（日）に、第 16 回定例会が開催されました！笛吹川フルーツ公園のくだもの工房クッキング教室に 13 名の皆さんと失語症者向け意思疎通支援者 4 名、ST9 名の総勢 26 名が集いました。本格的な調理は初めての試みでしたが、各グループこだわりのほうとうができました。



自前のエプロンを持参したり、手作り味噌の差し入れもありました。
食べる人を思って麺を切ったり、火が通りやすいように具材を切ったり…。
男性陣の手際の良さも光っていました！
作成：ふじやま運営委員会

令和 6 年度山梨県失語症者向け意思疎通支援者派遣支援事業は 甲府市に加え甲斐市が開始 令和 7 年度には昭和町でも始まります

山梨県失語症者向け意思疎通支援事業運営委員会 委員長 赤池 三紀子

令和 6 年度の個別派遣数は 5 件、うち 2 件は甲斐市で就労継続支援 B 型施設での就労体験補助でした。これにより、県内市町村で 2 つ目の支援者派遣が実現されました。目的も受診や公営住宅申込、郵便局での手続き補助など個別性が高い内容でした。派遣事業が開始されてのこの 3 年間では、失語症者の登録は計 7 名（男 4 名、女 3 名）。今後開始予定の昭和町でも担当 ST からの相談から派遣支援へつながってきたため、この派遣事業の展開に不可欠な ST 会員への周知について早期に検討し、失語症のある方の活動を支援するこの重要な事業について情報提供していく必要性を改めて感じています。身近で対応されている失語症者でこの支援についての利用を検討している ST はぜひご相談下さい。引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

第9回 理事会議事録

日 時：令和6年12月20日（金） 19時00分～20時32分
出席理事：赤池（洋）、赤池（三）、中村、元木、市川、岡、高橋、武井、
中嶋、萩原、舟越、山田、吉澤、桂川

欠席理事：佐々木

＜協議事項＞

1. 来年度の新卒者研修会について、講義、事例を通して考えていく方法を継続していくこととなった。
2. 山梨県立図書館への寄贈図書は、『三訂 失語症の人と話そう：失語症の理解と豊かなコミュニケーションのために』『最新図解自閉症スペクトラムの子どもたちをサポートする本（発達障害を考える心をつなぐ）』の2冊となった。
3. 県士会HPのメニュー項目について、「会員向け情報」は「研修会・講演会案内」に変更、「研修会・講演会案内」は「学術大会」、「県士会主催研修会」、「関連イベント情報」、「研修会参加記」に変更することが承認された。「会員手続き」は、「入会・変更・退会案内」の項目を新規作成することが承認された。

＜報告事項＞

1. 第2回新卒者研修会、基礎講座、第3回症例検討会について報告された。
2. 高校生出前授業について報告された。
3. インクルーシブ教育推進事業報告（11月・12月実績）について報告された。
4. 第9回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会スキルアップ研修、失語症者向け意思疎通支援者養成講習会スキルアップ研修会修了式、ニーズシーズマッチング交流会2024 失語症者向け意思疎通支援者派遣支援について報告された。

第10回 理事会議事録

日 時：令和7年1月17日（金） 19時00分～19時53分
出席理事：赤池（洋）、赤池（三）、元木、市川、岡、佐々木、武井、中嶋、
萩原、舟越、吉澤、桂川

欠席理事：中村、高橋、山田

＜協議事項＞

1. 次年度以降に県士会用の携帯電話を購入した後、県士会のGoogleアカウントを作成していく事が承認された。
2. 災害時安否確認システム令和6年度第3回予行演習を令和7年2月3日～2月10日に実施することが承認された。

＜報告事項＞

1. 第1回学術講演会について報告された。
2. 臨床実習指導者講習会3月期追加募集について、県士会より赤池副会長が参加予定であることが報告された。

第11回 理事会議事録

日 時：令和7年2月21日（金） 19時00分～20時48分
出席理事：赤池（洋）、赤池（三）、中村、元木、市川、岡、高橋、中嶋、
萩原、舟越、吉澤、山田、桂川

欠席理事：岡、佐々木、武井

＜協議事項＞

1. 令和7年度定時社員総会の日程および会場について承認された。開催方式は、対面形式のみとすることが承認された。
2. 県士会用携帯電話について、次年度予算で計上し、総会開催以降に

契約していくことが承認された。

3. 県士会用にネット銀行の契約を行うことについて、総務部と学術部で協議して決定していくことが承認された。
4. 会員/非会員の差別化を図るため、研修会の参加費を非会員の参加者から徴収することが承認された。
5. 県士会ホームページに失語症者向け意思疎通支援事業についてのメニュー項目を作製していくことが承認された。
6. 県士会NEWS61号で代表者会議について執筆することが承認された。

＜報告事項＞

1. 第4回症例検討会について報告された。
2. 日本言語聴覚士協会2024年度災害基礎研修について報告された。
3. 地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業初級研修について報告された。
4. 失語症者向け意思疎通支援事業第1回フォローアップ研修について報告された。
5. 山梨県がんをもつ方のリハビリテーション公開講座、山梨県がんリハビリテーション専門職研修、山梨県がん教育指導者研修会について報告された。
6. 第4回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会について報告された。
7. 東京都言語聴覚士会よりデフリンピック選手の聴力検査実施者の募集があったことについて報告された。

第12回 理事会議事録

日 時：令和7年3月21日（金） 19時00分～20時27分
出席理事：赤池（洋）、赤池（三）、中村、元木、市川、岡、佐々木、高橋、
武井、中嶋、萩原、舟越、山田、吉澤、桂川

欠席理事：なし

＜協議事項＞

1. 来年度新規にノートパソコンの購入について、予算立て、購入していくことが承認された。
2. VF 甲府 VENTRISE 支援金は、今年度までで終了することが承認された。今後は別の形での支援が可能か担当者と連絡調整することとなった。
3. 令和7年度部員追加について承認された。

＜報告事項＞

1. 第2回学術講演会について報告された。
2. 山梨県立図書館への寄贈図書について報告された。
3. インクルーシブ教育推進事業（2月・3月実績）について報告された。
4. 生活期リハビリテーション研修会について報告された。
5. 認知症サポーターステップアップ講座について報告された。
6. ふじやま第16回定例会について報告された。今後の予定として、ふじやま通信作成について報告された。
7. 失語症者向け意思疎通支援事業第2回フォローアップ研修について報告された。

開催方法：オンライン会議

議 長：赤池洋

書 記：石間戸香穂、河村有美、佐藤享貴、望月智佳

議事録作成：桂川謙祐

<各局・委員会からのお知らせ>

事務局

<総務部>

- 事務局総務部では、県士会活動が円滑に行えるよう社員総会や理事会の開催・議事録の作成、Zoom ミーティングの設定、各種情報の発信、会員情報管理、財務部では、会費徴収や法人税の支払い等の財務管理を行っています。

<財務部>

- 新年度は 8 名の入会がありました。正会員は 133 名、賛助会員は 6 団体です。

既に会費の納入をしていただいた会員の方々もいらっしゃいますが、まだお済みでない方は佐々木財務部長へ直接お届けいただくか、下記口座への振り込みをお願い致します。

(年会費：10,000 円)

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 950758
名称	一般社団法人山梨県言語聴覚士会 シヤ・ヤマナシケンゲンゴチヨウカクシカイ

今年度も皆様のご協力をよろしくお願い致します。

学術局

- 今年度も症例検討会を集合開催とし、顔の見える関係作りも更に深めていきたいと思っております。お忙しいかと思っておりますが、多くの会員の皆さんにご参加いただけると幸いです。新卒者研修会は新卒者会員以外の参加も可能ですので、ご興味がある方はご参加下さい。

<学術部>

- 各種研修会は、日程が決まり次第、会員の皆さんへご案内します。

社会局

- 渉外部、広報部、会報編集・ホームページ管理部の 3 部体制で活動しています。

<渉外部>

- 今年度も「外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関する実態調査」を実施いたします。最新情報はホームページに掲載し、日々の業務や医療・介護連携の際にご活用いただけるよう、毎年情報を更新してまいります。実態調査へのご

回答のご協力をよろしくお願い致します。

<会報編集・ホームページ管理部>

- 会報誌「県士会 News 61 号、62 号、63 号」の発行を行い、当士会活動の紹介だけではなく、会員間のコミュニケーションツールとしてより内容を充実させていきます。
- ホームページでは県士会や言語聴覚士の広報活動の一助となるように、情報の収集・発信を推進していきます。また、トップページ上段には、県士会活動の様子や季節ごとの山梨県の名所の写真などを掲載しています。写真は会員の皆様からも募集していますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

地域リハビリテーション委員会

- 令和 7 年 2 月 18 日(火)、25 日(火)、3 月 4 日(火)に地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成研修会日本言語聴覚士協会初期研修を開催いたしました。6 名の先生方にご協力いただき、一般介護予防事業におけるリハビリテーション活動推進に向け、地域支援事業の中で求められる基本知識について、地域での活動の紹介を含めてご講義いただきました。初期研修は講義が中心となっておりますが、実際に地域に向いて活動している先生方の体験談も聞ける良い機会です。当委員会は地域で活動できる言語聴覚士の育成に努めて参りたいと思います。

「ふじやま」運営委員会

- 令和 7 年 6 月 7 日(土)に失語症全国大会 in ぎふへ参加しました。初めてのバスでの長距離移動、県外での活動を楽しみました。今年度も定期的に定例会の開催を予定しています。ぜひ、会員の皆様のご参加もお待ちしています。

災害対策支援委員会

- 災害対策支援委員会では災害時安否確認システム第 3 回予行演習を令和 7 年 2 月 3 日～2 月 10 日に開催しました。第 3 回予行演習では 86 名の会員の皆様に参加していただきありがとうございました。今年度は災害時安否確認システムに加え、災害時における情報共有や連携がより迅速に行えることを目的として「責任者 LINE グループ」の運用も開始しました。今年度の予行演習の際には活用させて頂きたいと考えていますので、引き続きご協力をお願い致します。

やさしい聴こえのお手伝い

- 認定補聴器技能者在籍
- 補聴器の無料体験
- 支援法補聴器取り扱い

認定補聴器専門店
なかだて補聴器センター

甲府店 ☎ 0120-29-3321 玉穂店 ☎ 0800-800-8173
 甲府市中央5丁目2-29 中央市若宮 29-3 T-ウエスト

G ジェントル スティム

リハビリテーションのための
 新たな電気刺激装置

痛くない療法
 感覚刺激
 使いやすい

foodCare JAPAN TEL: 042-700-0039 www.food-care.co.jp

morinaga **つるりんこ** シュワシュワ

飲み込みにくいと感じる方が
 おいしく、楽しく炭酸飲料を摂取するために

コーラ ノンアルコールビール ジンジャーエール 果汁系炭酸飲料 無糖炭酸飲料

森永乳業クリニコ株式会社 ☎ 0120-52-0050
 受付時間：平日 9:30 ~ 17:00 (土日祝日・年末年始・5/1 除く)

Pepti-Sal 唾液のチカラで健康と笑顔を
 Oral Health for Everyone

デリケートなお口をやさしくケアし
 お口の環境を健康に保ちます

Pepti-Sal (ペプチサル) とは
 「Peptide (ペプチド)」+ 「Saliva (唾液)」の造語。
 唾液のチカラに着目して開発された
 低刺激性のオーラルケア製品です。
 要介護の方の口腔ケアにもおすすめです。

T&K ティーアンドケー株式会社 TEL: 03-5640-0233 FAX: 03-5640-0232 www.comfort-tk.co.jp

私たちはシャント発声のプロフェッショナルです

喉頭を摘出された方々のQOL向上のために、シャント発声のリハビリテーションや患者さまを対象にした勉強会を行っています。シャント発声について興味のある言語聴覚士の皆さまには、実際のリハビリテーションの様子や勉強会を公開しておりますので、お気軽にお問合せください。

Atos Atos Medical Your voice
株式会社アトスメディカルジャパン
 〒104-0033 東京都中央区新川 1-3-17 新川三幸ビル 2F
 tel 03 4589 2830 / fax 03 5540 0890
info.jp@atosmedical.com

コトサブ **リハサブ**

自宅で手軽に自主トレ！
 言語トレーニングアプリ

言語訓練をアプリ1つで！
 言語聴覚士向け教材アプリ

編集後記 2025 年度となり半年が過ぎようとしています。この時期はコロナやインフルエンザは少ないですが、連日の暑さによって体調を崩される方もいるのではないかと思います。今年の夏も暑くなるとの情報だったため、私は暑い時は我慢せず冷房を入れて過ごしたいと思います。よく対策として、こまめな水分補給や冷房の使用等が言われておりますが、汗をかくこともいいことだそうです。皆様も暑さ対策しながら今年の夏をお過ごし下さい。

さて、今回の県士会ニュースも山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会の様子や新入会員紹介等、盛り沢山の内容となっております。新入会員も入り会員が増えたので、研修会等で会えることを楽しみにしています。ぜひ熟読していただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。(海野友希)

一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

＜発行所＞ 一般社団法人山梨県言語聴覚士会
 ＜発行人＞ 赤池 洋
 ＜編集＞ 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 社会局会報編集・HP 管理部

石 和 府	温 泉 病 院	：	高 橋 正和
甲 府	城 南 病 院	：	古澤 由香、秋山 仁哉、飯島 七海、佐藤 淳貴、大島 愛
訪問看護ステーション	洗心	：	岡 大樹
甲州リハビリテーション病院		：	海野 友希
甲 府 共 立 病 院		：	菊原 悠雅
山梨リハビリテーション病院		：	古西 叶佳
春日居総合リハビリテーション病院		：	志摩 美月
湯 村 温 泉 病 院		：	高 木 建汰

＜事務局＞ 医療法人慈光会 甲府城南病院 言語聴覚療法科内
 〒400-0831 甲府市上町 753-1
 ＜発行日＞ 2025 年 7 月 1 日 第 61 刊